



生活環境の向上をめざす

《「水と緑の快適環境のまちづくり」の施策》

○ 公園の整備

松前公園の運動場で行っている野球やソフトボールなどのボールが外へ飛び出し、付近を通行される方に当たって危険といった指摘もあるため、防球ネットを設置します。

○ 下水道の整備

県では、平成20年度から浄化槽を付け替える住宅への設置補助率を更に削減しますが、松前町では、公共水域の水質汚濁を防止し、環境保全・公衆衛生の向上を図るため、住民の負担増とならないように補助を続けます。

また、市街化区域内の水路については、これまでも一定の予算で清掃を行ってききましたが、都市化の進展に伴い汚泥が堆積した下水路が増加しているため、平成20年度から予算を増やして、計画的な汚泥処理を実施します。

○ 環境衛生とリサイクル対策の充実

庁舎南側に朝顔などを植えてひさしを作り、日差しを和らげることで室温の上昇を抑え、地域省エネルギーのモデルとなる事業を実施します。

また、昨年制定した省エネルギービジョンに基づき、庁舎など5つの公共施設で省エネルギー効果と経費削減の可能性を見出せましたので、

※ E S C O 事業の目的である環境を損なうことなく省エネルギー化が実現できるように、推進していきます。

次に、地域で排出されるバイオマスをその地域でエネルギーなどに変換し、可能な限り資源を循環利用するバイオマスタウンの実現に向け、松前町独自の創意工夫を凝らした構想を策定します。

※ E S C O (Energy Service Company) の略。事業とは、工場やビルの省エネルギーに関するサービスを提供し、省エネルギー効果を保証する事業です。

生活基盤の整備を行う

《「安全でにぎわいのあるまちづくり」の施策》

○ 道路・交通網の整備

町内東西幹線道路として整備を進めている町道筒井徳丸線(目標年度(平成22年度)の完成をめざし、進捗を図ります。

また、新市街地形成ゾーンの市街化区域への編入に伴う将来的な土地利用を踏まえたスムーズな交通体系の確保と、より効果的な筒井地区排水対策を行うため、道路新設に関する詳細設計などを実施します。

次に、道路環境を改善し交通の安全を確保するため、老朽化が著しい町道を計画的に補修するとともに、生活に密着した各大字内の地域内生活道路についても、基準を設け計画的に補修していきます。

○ 住宅対策の充実

防災力を高め、地震や火災などからの2次災害の防止、住環境の改善を図るため、老朽化して放置されている建物を除去するときの費用の一部を補助し、住民の自主的な除去を誘導していきます。

○ 防災対策・救急対策の充実

防災管理体制の充実による災害監視機能の強化と、緊急地震速報などへの迅速な対応を図るため、防災行政無線のデジタル化を実施します。

また、地域の総合的な防災力の向上と災害時における避難場所の確保を図るため、老朽化が進む大間・上高柳・恵久美の消防団詰所を一か所に集約し、松前町第7分団消防詰所として整備します。



工事中の町道筒井徳丸線